

## 持続可能な社会の実現を目指し 『クリスタルガイザー』に50%リサイクルペットボトルを導入 4月から全国で順次展開

大塚食品株式会社(本社:大阪市中央区、代表取締役社長:白石耕一)は、米国CGロクサーヌ社が製造するカリフォルニアのマウント・シャスタの湧水を直接ボトリングしたミネラルウォーター『クリスタルガイザー』に50%リサイクルペットボトルを導入し、2021年4月から全国で順次展開いたします。

大塚食品は1994年に『クリスタルガイザー』の輸入販売を開始して以来、日本最軽量<sup>※1</sup>のキャップや軽量ボトルを採用。『クリスタルガイザー』のキャップの重量は約1.3g、ボトルの重量も発売当時に比べ約50%軽量化しております。また、政府が展開する国民運動「COOL CHOICE」<sup>※2</sup>に賛同し、飲料市場初の「COOL CHOICE」のロゴをパッケージに入れたボトルの導入など日本の飲料市場において、環境に配慮した活動を積極的に推進してきました。

米国カリフォルニア州で販売シェア No.1<sup>※3</sup>の「クリスタルガイザー」を製造している大塚グループのCGロクサーヌ社は、米国の飲料メーカーで初めてペットボトルリサイクル処理の自社工場<sup>※4</sup>を2018年より操業開始し、リサイクル原料を50%使用した『クリスタルガイザー』を米国で販売しております。今回日本で販売する50%リサイクルペット製品もCGロクサーヌ社で製造しています。このたびの導入により一般的な石油由来100%のペットボトルと比較して、ボトル1本あたりのCO<sub>2</sub>排出量を約30%削減できる見込みです。

大塚グループでは持続可能な社会の実現を目指し、ペットボトルを中心とした取り組みに関する「大塚グループ プラスチックステートメント」を2020年に制定し、「2030年までにペットボトルにおけるリサイクル原料および植物由来原料の使用割合をグローバルで50%以上」などの目標を掲げております。

※1 2020年12月自社調べ(対象は国内の主要な飲料製品)

※2 『COOL CHOICE』とは、2030年度の温室効果ガスの排出量を2013年度比で26%削減するという目標達成のために、省エネ・低炭素型の製品・サービス・行動など、温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」を促す国民運動です。

※3 IRI Resources Bottled Water Report2019(500ml・ガロンサイズ)

※4 年間約10億本分のペットボトルを処理する能力を備えています。



【クリスタルガイザー 310ml ペットボトル】

【クリスタルガイザー 500ml ペットボトル】

【クリスタルガイザー 700ml ペットボトル】

## 【製品特長】

- ・米国カリフォルニア州北部、マウント・シヤスタの氷河に吸い込まれた雨や雪が長い年月をかけてゆっくりろ過され、自噴した湧水。
- ・国立森林保護区内の源泉から直接ボトリング。
- ・日本人の味覚に合った軟水(硬度 38ml/L)。

## 【概要】

- 製 品 名 : 『クリスタルガイザー アルパインスプリングウォーター 310ml ペットボトル』  
『クリスタルガイザー アルパインスプリングウォーター 500ml ペットボトル』  
『クリスタルガイザー アルパインスプリングウォーター 700ml ペットボトル』

■希望小売価格 : 各 100 円(税別)

■展 開 時 期 : 2021 年 4 月から順次

■販 売 エ リ ア : 全国

■販 売 チ ャ ネ ル : 量販店・コンビニエンスストア・駅売店・一般小売店・ドラッグストア等